

R4年度10月～3月 研修会・イベント報告

事業名：和歌山県作業療法学会

担当部委員：県学会運営委員会

事業日：令和4年11月27日(日)

内容：当初は対面を予定していましたが、感染対策によりオンラインでの開催となり、運営会場は宝塚医療大学にて実施しました。県内のみならず様々な地域から、また作業療法士だけでなく他職種の方々も参加されました。学会テーマは「働き方フェス - Think our QOL -」とし、多様な働き方をされている講師の先生方にご講演いただきました。運営の皆様、お疲れ様でした。

オンライン形式での学会にも慣れてきましたが、次年度は対面にて開催いたします。どうぞご参加ください。

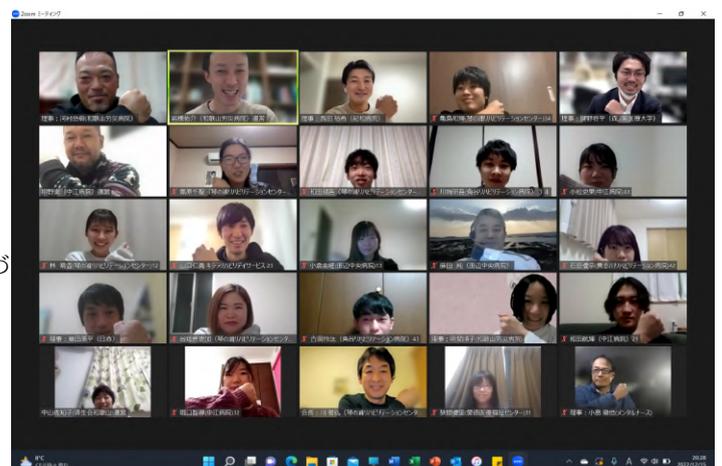


事業名：WEB懇親会

担当部委員：福利厚生部

事業日：令和4年12月15日(木)

内容：卒後1～3年目の会員さんを対象とし、30名参加されました。当日はグループに分かれ、「県士会に求めること」「知識・技術研鑽の仕方」など、様々なテーマに沿って若い会員さん同士や理事との交流が行われました。終了後のアンケートでは「他の施設のOTと交流できてよかった」「悩みを共有できた」などの意見がありました。最後は皆さんで「パワー！」の合図と共に写真撮影をして終了しました！次年度も開催予定ですので、是非ご参加ください。



担当部委員：地域包括ケアシステム推進委員会

事業日：令和4年11月13日（日）

内容：地域支援事業推進委員会の人材育成研修のステップアップ研修と位置づける研修を行いました。今年度は奈良県より日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員長である辰己一彦氏と奈良県地域包括ケア担当理事である安井敦史氏をお招きし、奈良モデルについてお話いただきました。午後は地域ケア会議での助言をスキルアップ研修及び和歌山県における地域支援事業の課題と展望についてグループワークを行いました。参加者は、午前の部、午後の部、オンデマンド配信を含めて48名でした。



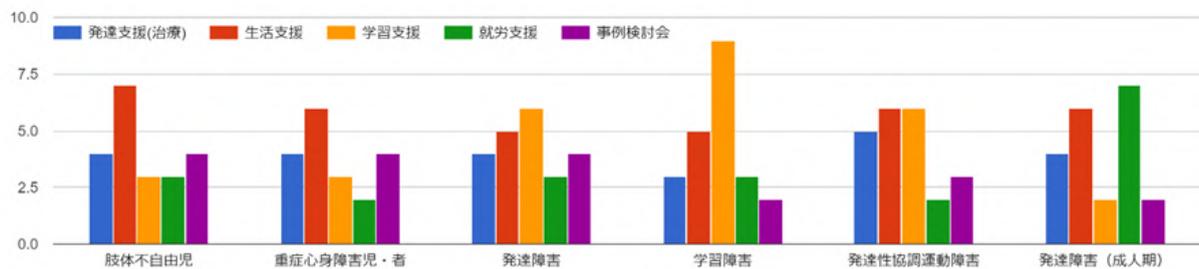
事業名：和歌山の発達領域を知ろう！

担当部委員：こども支援委員会

事業日：令和5年1月15日（日）

内容：今年度は、和歌山の発達領域のことを話し合いたい思いから、地域の療育相談、訪問でご活躍されている島美加先生と、和歌山市で学校訪問支援をされている宝塚医療大学を代表して奥田祥司先生にご講義いただきました。参加者26名の内、なんと30%の10名は発達以外の領域の方が参加しており、領域を超えた連携への良い機会となりました。施設で働く中で、和歌山の動きを以外と知らないこと、県の発達支援の地域課題があることなど、気づきの多かった研修でした。和歌山も個の次元から、地域へ広がる二次元になってきました。異次元なんて言わず、次は形になる三次元を目指して取り組んでいきます。

今後、研修会・勉強会で取り上げて欲しいテーマをお聞かせ下さい。



事業名: OTトップリーダー研修会

担当部委員: リーダー育成推進委員会

事業日: 令和5年2月25日(土)

内容: 今年度もWEBで開催されました。前半は管理者研修として、マネジメントや育成支援のためのコーチングスキルなどについての講義とグループワークが行われました。後半は会長報告として協会・県士会活動の現状や今後の計画などについての報告が行われました。

和歌山県作業療法士会より

★政策提言・要望に向けた渉外活動は不可欠である
➡ 作業療法(士)の啓発・周知、そして職域拡大へ!

県行政へのお願い

- 認知症予防施策への参画について
- 運転免許センターへの作業療法士の配備について
- 運転寿命を延ばそう活動について
- 発達障害児に対する学校適応支援のための作業療法の周知について
学校作業療法士、学童保育、放課後等デイサービス、児童発達支援事業 等
- 和歌山県内の特別支援学校に作業療法士が配属について
- 和歌山JRATと県との協定締結について



和歌山県